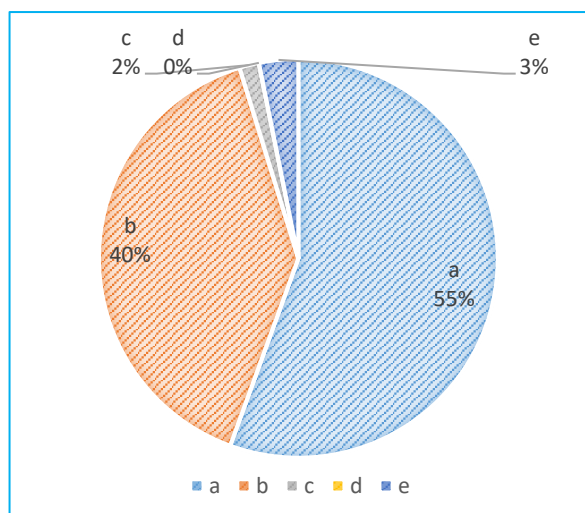


**第19回 大学教育問題全学講演会**  
**「社会連携と大学教育との有機的連関～愛知大学の現状と課題」**  
**アンケート集計結果 (2025.4.10)**

参加者 184名

**1. 講演はいかがでしたか。**



- a. 大変良かった
- b. 良かった
- c. あまり良くなかった
- d. 良くなかった
- e. 不明

a	b	c	d	e	計
35	25	1	0	2	63

**2. よろしければ、1.の理由を教えてください。**

●「a. 大変良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 断片的にしか把握していなかった地域連携活動について知識を深めることができました。
- ◇ とても内容の濃いシンポでした。活気を感じた!!
- ◇ 他大学と比較し、地域連携事業の受付運営面が優れていることが分かった。また事業化（予算化）した自治体もあることが大変本学の強みになると感じる。愛知大学のブランド化に資する取り組みだと感じ全体像理解が深まった。
- ◇ 今まで愛大内の社会連携の全体を知ることはなかったので、千枚田の事業実態を知れたのは大変参考になった。
- ◇ これまで構内で聞いたことのある組織名であったが、今回具体的に何をしている組織・団体だったか分かったことが良かった。
- ◇ 実践的なトピックが取り上げられており参考になった。
- ◇ 基本的なことと最新の情報の両方を理解することができた。
- ◇ これまで単発のプロジェクトについて耳にすることはあっても、それぞれの内実についてその詳細を知る機会がなかった。「横串にする」試みと紹介があったが、愛大内で広く情報共有する意義は大きいと感じた
- ◇ 大学でどういう取り組みがされているかわかった。
- ◇ 地域連携の実例のお話が聞くことができ良かったです。良い企画をありがとうございました。
- ◇ 「キャリア」のとらえ方が変化している。学部と研究機関と地域のつながりができている。
- ◇ 愛知大学の現状が実によくわかった。
- ◇ 思ったより地域連携しているなと思った。
- ◇ 本学で行われている様々な地域連携のプログラムについて知ることができ、とても興味深かったです。
- ◇ 学内外の取り組みについて理解できた。
- ◇ 各セッションでの地域連携の具体的な取り組みがよく分かった。
- ◇ 愛大にいながら、愛大の地域取組についてくわしく知らなかった。愛知以外の地域での活動、リラックスして専門家の話をきけるなど様々な興味深い試みが面白かった。
- ◇ 分かりやすかった。

- ◇ 今回の講演会で本学が力を入れた地域連携の内容をよく理解することができ大変良かったと思います。
- ◇ 地域連携から人とのつながり、地域とのつながりで、いろいろな取組や実績があることがよくわかった。こういう活動を広報で強くアピールし愛大ブランディングができるとよいと思いました。
- ◇ 地域連携が本学の大きな特徴になりつつあるということを深く実感できた。
- ◇ 愛大の地域連携はすごいボリュームなので関わっているわたしたちも全容を知らないので大変ありがたい講演会でした。
- ◇ 地域連携をやっている部署を学生に伝えたいと思う。
- ◇ 内の目、外ノ目の両側の視点から声を聴けた点。他部署でやっていることを知る機会が少ない。もっと愛大自身を理解する必要があると気づいた。
- ◇ 本学の社会連携が多様で学生がこれにより成長していく仕組みが整いつつあることをよく理解できました。本学の魅力をあらためて気づくことができました。
- ◇ 愛大の地域連携の多様性、それがブランディングとなるということを強く感じます好きになりました。
- ◇ 地域連携は大学として重要な取り組みであり、その詳細を知れたこと。
- ◇ それぞれのシンポジスト、テーマ内容が良かった。

### ●「b.良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 地域連携のことが勉強になりました。江口先生のお話が一番良かった。
- ◇ 同じ大学内で行われている事業を知ることができた。
- ◇ 具体例が盛りだくさんでイメージがつかめた。
- ◇ 教職員や学生の活気、地域での活躍を知れて良かった。
- ◇ キャリアデザインプログラムが正課外であるため、柔軟かつ迅速に展開できるという話に納得した。
- ◇ 地域連携、キャリアフィールドのことがよく理解できた。横の連携が必要だとあらためて感じた。
- ◇ 大学の現状を知ることができ、地域の中でのさまざまな取り組みについて知ることができた。
- ◇ 愛大の地域貢献、地域連携の実態をよく知ることができた。
- ◇ 学内の地域センターの位置づけがよく分かった。
- ◇ 部署横断で地域連携でとらえられる場面がなかったため、大変貴重な機会でした。
- ◇ 具体例が多かった。
- ◇ 地域連携が多方面で展開されていることに驚きとともに新たな発見をした思いです。

### ●「d.あまり良くなかった」と答えた人のコメント

- ◇ 総花的で議論が何も深まっていない。(個々の話はよかったが)

## 3. 本講演を聞いて、今後の教育活動にどのように活かしていけばよろしいと思われますか。

- ◇ 座学中心のゼミをやっており、学生の反応を見ながらフィールドワークを取り入れていきたい。
- ◇ ゼミ活動において、ゲスト招致等オープンにアレンジしていく。
- ◇ 理論と現実の融合・連携→共創
- ◇ プロジェクトの成果や成り行きについて、フォローしていきたい。
- ◇ 国際フィールドワークの活動として、地域活動を取り組みしたい。
- ◇ ゼミ活動において、ゲスト招致等オープンにアレンジしていく。
- ◇ ゼミ活動において、実施するテーマを考える材料となった。
- ◇ 授業の内容を考えるのに参考になると思う。
- ◇ 学生にキャリアの視点を持つように、いっそうの指導をする。
- ◇ 学生に参加をすすめたい。
- ◇ 積極的でない学生にも参加させる仕組みができるのではないかという可能性を感じた。
- ◇ 中学、高校との連携をより深めたいと感じた。
- ◇ キャリアナビゲーターの話はゼミ単位でも取り入れることができそう。

## 4. 今後どのようなテーマを希望されますか。

- ◇ 配慮学生への支援。メンタルサポートについて。ジェンダー、ハラスメント対策。国際交流の実態。教育に関するスキルアップ講座。IT利用やSNS利用など倫理的な面での再教育。
- ◇ 国際化推進。他大学の事例が知りたい。
- ◇ AIについて
- ◇ 他大学との教育問題について。
- ◇ 企業とのアントレシップ教育。
- ◇ 高大連携。
- ◇ 学生サークルの活動や大学としての支援の様子。
- ◇ アンガーマネジメントやメンタルの健康など。精神科医の話を聞きたい。
- ◇ 合理的配慮についての実情と課題・問題について
- ◇ 正課外に参加する学生を増やす取り組み事例など。
- ◇ 教学のデジタル化。
- ◇ PBLを実際にやる時、困ったこと、うまく運営するコツ。
- ◇ 目からウロコなあっとさせられるような視点んものを期待。